

令和6年5月14日

令和6年度大分県保育現場の働き方改革実践支援事業
委託業務に係る企画提案競技への質問及び回答について

・業務改善の実施に向けた具体的なアクションプランを考える研修において、受講数は20施設とあるが、3回程度の実施において、同じ施設からの参加と考えて良いか？

【回答】

そのとおりです。

・ICTの活用研修において、回数が2回で各研修受講数は20名程度とあるが、それぞれの実施日で違う受講者であり、延べ人数40名程度と考えてよいか？

【回答】

同じ受講者に2回の研修をセットで実施することを想定しています。

・課題解決に向けた取組を学ぶ研修の3研修に関して、2,3時間の研修のために県内から集まることは、非効率と考える。オンラインでの実施や集合研修と双方向オンライン研修を同時に行うハイブリッドでの実施は検討が可能か？

・仕様書「(1)園長等の管理者向け研修」や「(2)業務改善の実施に向けた具体的なアクションプランを考える研修」以外は全て実地研修前提での検討でよろしいでしょうか。

【回答】

対面、オンライン、ハイブリット等の研修実施方法も含めた提案をお願いします。

・課題解決に向けた取組を学ぶ研修の3研修に関して、受講者の日程調整の問題対応のために、2講座を同日に実施することは想定しているか？

【回答】

午前1講座、午後1講座等の実施は可能です。ただし、3講座すべての受講が可能な日程としてください。スケジュールも含めた提案をお願いします。

・今まで実施した同研修において、参加した保育所数は、市町村別で開示できるか？

【回答】

過去の同研修は組み立てが異なることもあり、質問の回答として提供することができないことをご了承ください。過去の研修では、大分県中部以外からの受講もありました。大分県全域からの受講を想定しています。

・募集要項「5 審査」の日程について、目安の日時があれば、ご教授願います。

【回答】

6月7日(金)13:30～審査会開始、14:00～各提案競技者プレゼンテーション開始の予定です。詳細な日時については別途案内します。

・仕様書「◇各研修について」で実地研修を行う会場は、事業者負担で会場を用意するというところでよろしいでしょうか。また、会場は中心地である大分市を前提に検討してもよろしいでしょうか。

【回答】

そのとおりです。実地研修を行う場合は、会場及び使用する機材等の確保は事業者にてお願いします。また、会場の指定はありませんが、大分市内を想定しています。

・企画提案書(様式1)、見積書、誓約書(様式3)は、押印の記載(欄)・指示等がないことから押印不要でよろしいでしょうか。

【回答】

そのとおりです。

・研修内容に「保育・教育施設運営に関する労働関連法」とありますので、講師には社会保険労務士が必要でしょうか。

【回答】

「保育・教育施設運営に関する労働関連法や保育現場の労務管理の事例についても紹介し、労務管理について学ぶ。」(仕様書2ページ)について

講師については、社会保険労務士を指定していませんが、保育現場の労務管理に精通した社会保険労務士がより適切だと思われま。

・「ICTの活用」「記録・書類業務の見直し」「働き方の見直し」の各研修受講者(施設)に対して、事前に状況ヒアリングを目的としたアンケートや電話ヒアリング(または Web 会議)をすることは可能でしょうか。

【回答】

可能です。事前アンケートやヒアリングの有無、実施する場合の方法を含めた提案をお願いします。

・ICT導入事例や各園での導入計画について、特定の有料保育支援サービスを例として紹介し、導入計画に組み入れてもよろしいでしょうか。

【回答】

各園の導入事例等を紹介するなかで、園が導入している保育ICTシステムの説明をすることは考えられますが、営利目的等での特定の保育ICTシステムの紹介や推奨は出来ません。

・講座で使用するテキスト等は、必要部数を受託者が用意し県に提出するとありますが、オンライン参加者には、メール等でお送りするという認識でよろしいでしょうか。

【回答】

そのとおりです。